

県民との意見交換実施状況一覧（主な意見）

※分野は、しあわせ信州創造プランの施策の総合的展開に沿っています

会議名	日時	参加者	人数	件数	分野	主な意見
市町村等交流職員との意見交換	H29.1.26	県に派遣されている市町村等職員	29	41	産業・雇用	※カッコ内は(本県の課題×本県の強み) <ul style="list-style-type: none"> ・仕事を紹介してくれる体制の充実(仕事が少ない、給料が安い×人同士が繋がりがやすい) ・アウトドアレジャーを活かした雇用創出(働く場所がない×豊富なアウトドアレジャー) ・「雪中〇〇」のような付加価値を付けた商品開発(雪・寒さ×色々な“おいしい”) ・需要のないものを需要のあるものに進化させる(閉鎖的×地域資源が豊富) ・安く美味しいものPR・ネット販売(仕事が少ない×交通アクセスが不便×色々な“おいしい”) ・食文化を活かしたビジネスモデルの構築(やや生活が不便×食が豊か) ・農業体験による若者の呼び込み(帰らない若者×色々な“おいしい”) ・自然を感じる観光列車を各地域に導入(交通アクセスが不便×自然が多い) ・秘境温泉を秘境まるごと売り込み(交通アクセスが不便×温泉が多い) ・長期滞在型観光の推進(交通アクセスが不便×観光地が充実)
					地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・寒さや雪などの厳しい気候条件を地域資源に変える(気候×地域資源が豊富) ・おすそわけ文化の継承(やや生活が不便×食が豊か)
					社会基盤	<ul style="list-style-type: none"> ・県内交通と高速交通網のリンク(交通アクセスが不便×東京圏に近い) ・乗合で移動するなどのシェアリングの普及(移動手段が必要×人柄が良い)
					健康・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が現役時代の仕事や役割を活かした社会参加ができる(閉鎖的×長寿) ・健康食で医者いらず(健康課題×食が豊か)
					教育	<ul style="list-style-type: none"> ・県の魅力を学ぶ教育カリキュラムづくりとSNSでの発信(県民が県の魅力に気づいていない×地域資源が豊富) ・長野県だからできるスポーツの発展・発信(若者の流出×冬季スポーツ・マイナースポーツが強い) ・スポーツ分野に、温泉や自然など疲労回復の要素が多いことを売り込む(スポーツが弱い×温泉が多い)
これからの長野県教育を考える有識者懇談会(第2回)	H28.12.26	小中高等学校長、有識者、PTAなど	15	21	教育	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達の社会的成功や社会の発展につながる学力をどうとらえるか ・知識を所有するだけではなく、活用の効く知識に。非認知的学力の重視 ・長野県教育の伝統がうまく継承・発展できていない ・困難に立ち向かう力、問題を解決する力、生き抜く力を身につける必要 ・幼保小の連携を密にする ・子ども達に必要な学力を何で測るか ・長野県らしい尖った教育が必要(島根県隠岐島前高校、北海道三笠高校) ・学校が地域の情報拠点としてICT環境を担っていく必要がある ・地域の力をコーディネートしていく教員の力をどうつけるか ・20年後は社会が全く違うことを教師が体感する必要がある

会議名	日時	参加者	人数	件数	分野	主な意見
長野県住宅審議会	H28.12.16	審議会委員 (市町村、建築士会、 介護福祉士会など)	10	7	産業・雇用	・建築用材としての県産木材の利用促進 ・緑化の推進が、都市部では防災の観点からも重要
					地域づくり	・空き家の問題は都市のコンパクト化、中心市街地の活性化とも密接に関連しており、 県外からの移住も含め、空き家・空き建築物の活用がまちづくりとして重要 ・古民家の保存、活用は景観対策になるとともに、伝統的な技能継承につながる
					安全	・建設技能労働者の減少と高齢化に加え、建設事業者の倒産、休廃業が増えており、 伝統技能継承や地域経済だけではなく、防災力などの面でも深刻な問題 ・二地域居住用住宅などを災害時における都市部からの避難先として活用
					健康・福祉	・コミュニティをつくり、地域を活性化する役割を担う地域づくりの主体として、今後は地 域の福祉・介護施設や事業所、高齢者の参画を考慮すべき
第2回長野県女性活躍推進会議 (事前アンケート※及び意見交換) ※女性の就業について	H28.12.14	推進会議委員 (経営者協会、 連合婦人会など)	14	21	産業・雇用	・女性が安心して働ける環境や助成の充実 ・男性の育休・出産休の普及 ・女性特有の悩みなどの相談窓口の整備 ・現場で活躍する女性の発信 ・子育て・介護の支援サービス充実、テレワークなどの多様な働き方を増やす ・企業説明会(再就職希望者向け、女子大・短大との連携など)研修会、セミナー開催
農村女性フェスティバル (アンケート※を実施) ※分野を問わず	H28.12.13	農業や地域を担う女性	120	133	産業・雇用	・県内に雇用の機会や選択肢があれば、若者が長野で住みたくなる ・安定した収入がある農業 ・地産地消、安全安心な食品で子ども達を育てる ・食育の推進 ・荒れた農地を少なくする ・衣類(綿、絹)や薬草に着目した農業 ・体験型農業で観光とコラボし、ホテル旅館を誘致 ・鳥獣被害対策により農林業のモチベーション維持
					地域づくり	・若い人たちが住み続ける、帰って来たくなる、県外から人が来る ・子どもからお年寄りまで1人1人が自由に生き活きと暮らせる ・女性が元気で活躍している ・それぞれの地域が特色を持って輝ける ・人と人とのつながりがあり、心が豊か ・田舎料理、伝統料理の伝承 ・美しい景観や豊かな里山の維持
					環境	・美しい自然を守る
					安全	・災害に強い生活

会議名	日時	参加者	人数	件数	分野	主な意見
(農村女性フェスティバル)					健康・福祉	<ul style="list-style-type: none"> 子どもに負担をかけない 保育園や病院などの施設・設備が整っていて住みやすい ひとり親、一人暮らし老人、障がい者などが集まれる場所づくり
					教育	<ul style="list-style-type: none"> 県づくりの担い手教育
					子育て	<ul style="list-style-type: none"> 若い人たちが子育てしやすい
市町村保健師を目指す学生等への就職ガイダンス (アンケート※を実施) ※分野を問わず	H28.12.11	学生など	5	10	産業・雇用	<ul style="list-style-type: none"> ワークライフバランスの実現 海外からの旅行者が多く来る環境づくり 山岳ツーリズムを盛んに
					地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> 若者が「住みたい」と思える街に 長野県に来るたびに「もっといたい」と思える地域づくり
					環境	<ul style="list-style-type: none"> 自然の豊かさの維持
					社会基盤	<ul style="list-style-type: none"> 交通の便が良くなる
					健康・福祉	<ul style="list-style-type: none"> 医療が受けやすく、買い物がしやすい高齢者に住みやすい街づくり
					子育て	<ul style="list-style-type: none"> ママ同士の交流が多いなど育児を楽しめるようになる
共同参画のまちづくりフォーラム (アンケート※を実施) ※分野を問わず	H28.12.10	長野県共同参画をめざす会会員 一般県民	20	56	産業・雇用	<ul style="list-style-type: none"> 多様な働き方を選べる社会の実現 家庭や趣味の時間も大事にできる社会
					地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> 自分のやっていることが喜ばれ、役立っていると感じる事が幸せにつながる 経済的にゆとりを持ち、生涯学び続けられる社会 社会的地位、立場に関係なく意見を発することができる社会 少数派が社会から排除されない環境 男性と女性が対等な立場で意見を言い合える
					健康・福祉	<ul style="list-style-type: none"> 健康生活の知識の普及
					子育て	<ul style="list-style-type: none"> 子育て家庭、子育て世代が周囲から大切にされる社会 男性が家事育児に関われるよう、県職員が手本を示す
社会福祉法人制度改革説明会 (アンケート※を実施) ※分野を問わず	H28.12.8	社会福祉法人理事 市町村社協役員 市町村職員など	36	62	産業・雇用	<ul style="list-style-type: none"> 若い人たちが地域に戻り、定着できる経済基盤の整備 過疎化改善のための産業開発、荒廃地の活用 働く場の確保 商店街全体で生き残る取組 自立できる農業 リゾート地や移住地として人気を高める。都会や海外への売込
					地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> 平凡な日常を安心して過ごせる環境 地域の人たちが声を掛け合い、助け合える社会 近隣市町村が良いものを広域で活用できるシステム構築 地域の新たな良さの発見 各地で特色を活かした取組

会議名	日時	参加者	人数	件数	分野	主な意見
(社会福祉法人制度改革説明会)					環境	・豊かな自然を県民も観光客も楽しめる
					安全	・冬の寒さ、自然災害など、厳しい自然を乗り越えられる対策
					社会基盤	・リニアをチャンスにした各方面の発展 ・交通網の整備により県の南北を近く ・公共交通の整備
					健康・福祉	・元気で長生きできる社会 ・安心できる医療・介護・福祉 ・高齢者が活躍する社会 ・体力増進と維持のためのシステムづくり ・送迎サービスの充実 ・障がい者が活躍できる社会 ・介護職員等の処遇改善
					子育て	・子育てが安心して出来る ・子どもが3歳になるまで育児に専念できる社会保障 ・子どもが多く賑やかな社会
					教育	・「教育県」としての県独自の教育体制充実 ・信州ブレイブウォリアーズがBリーグの基準を充たす体育館
飯山高校探求科1年生と知事との県政ランチミーティング	H28.12.8	飯山高校探求科1年地域創生研究グループ	8	1	地域づくり	・これまで地元に興味もなかったし、地方創生は役所や大人がやることだと思っていたが、地域を知り、若い人たちが自由に楽しくやるのが地方創生だと思った
県と市町村との総合教育懇談会	H28.11.21	市長会、町村会、市町村教委代表など	7	8	教育	・保育園から大学までの一貫したストーリーが大事 ・胎児の時から発達段階に応じた教育環境のあり方を考えることが必要 ・若者に帰って来てほしいという思いを明確に伝えることや、地域に自信を持つことが大切 ・地域の特色を活かした教育が大切 ・子どもたちが、地域のことを地域の人から学び、地域への愛着を育むことが大切 ・学校を廃校にすることは、若い世代が住まなくても良いシグナルとなるため、学校は分校にしてでも残さなくてはならない ・学校は、地域全体の学びの拠点としてとらえ、他施設との連携も重要
ポップアップ知恵だし会議 「長野県立大学ができるっ！」 (主催:市民協働サポートセンターまんまる)	H28.11.18	NPO法人、企業、学校、フリーランス等	約30名	8	教育	・県立大学は、生き方やあり方、働き方を深く問い続けて欲しい ・県立大学を、地域から学び、地域とともに学ぶ、学び合いの拠点にして欲しい ・中山間地域の課題をソーシャルビジネスで解決して欲しい ・県立大学は、起業を志す若者など、地域を支える人材を育てて欲しい ・学生や子ども、子育て世代など、多世代が交流できる場所になって欲しい

会議名	日時	参加者	人数	件数	分野	主な意見
森林・林業施策懇談会	H28.10.25	林業関係団体	30	5	産業・雇用	<ul style="list-style-type: none"> ・間伐材の利活用による継続的な森林づくりのため、森林づくり県民税を延長 ・主伐・再造林の一体的整備に対する助成措置の拡充・強化 ・効果のある松くい虫対策 ・野生鳥獣による農林業被害対策の拡充 ・木材の流通、製材加工施設の整備や新規利用を促す製品・技術開発などによる地域材需要拡大
これからの長野県教育を考える有識者懇談会(第1回)	H28.9.12	小中高等学校長、有識者、PTAなど	15	18	教育	<ul style="list-style-type: none"> ・解を求めるのではなく、試行錯誤を積み上げて仮説を自分で作る力が必要 ・多様性への寛容力、問題設定能力、困難に挑む力の3つを育むことが大事 ・問題解決能力、問題解決型学力育成の根幹は幼児期の教育 ・基本的な知識や基礎的な学力がなければ考える力に至らない ・変化や刺激に自分で対応できる力をつけることが重要 ・養護学校や特別支援学級に在籍する子が増加傾向。障がいのある子が隣にいて当たり前という長野県教育の実現を(インクルーシブ教育) ・コミュニケーション能力や苦しみに耐える力など集団の中で身につける力がある ・ICTの大胆利用など、場所や時間にとらわれない教育の導入(→教員の負担軽減) <ul style="list-style-type: none"> ・子ども達に長野県の良さを小さい頃から教えることは大切(信州学) ・学校に協力的で教育に関心の高い人を組織的に学校と結び付ける ・どういう子どもを育てたいのか、どういう学校が必要かを考える高校改革を